「人気温泉旅館ホテル250選」投票受け付け中

10月31日締め切り

「250選」の入選施設には認定証が贈られる。その授与式を毎年1月に開催（写真は今年1月15日に開かれた2024年度式典）

▼投票はこちらのQRコードから

広島県・きのえ温泉　ホテル清風館

全客室から瀬戸内望む

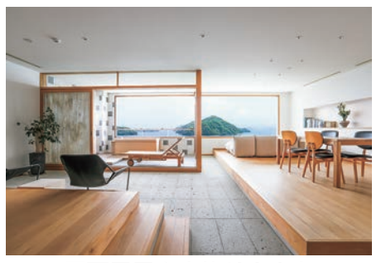
瀬戸内海のほぼ中心に位置する広島県大崎上島町の温泉宿、ホテル清風館（村上和夫社長）。高台に建つ館からは瀬戸内の島々が眼下に広がり、周辺には中ノ鼻灯台や竹原の町並み保存地区等の観光名所も充実。島時間を楽しむ拠点に最適だ。

客室は54室。全室から瀬戸内の多島美を望むことができ、和室を中心に、バリアフリー対応の洋室や瀬戸内海にゆかりある作家・三枡正典氏が市松模様を取り入れた和モダン客室など多彩なタイプを用意した。

最上階角部屋のデラックスツイン「陽光」は、露天風呂と北欧製の本格サウナを備えた特別室（定員2人）。90平方㍍の広さを誇り、大きな窓から瀬戸内に昇る朝日を独り占め。客室と露天風呂には天然檜（ひのき）を使用し、心身をリラックスさせ、快眠を促してくれる。

昨年12月にリニューアルした「コーナーフォース」は、客室で唯一、朝焼けに染まる大三島と木江港が見渡せる。セミダブルベッドと和室を設け、最大6人まで宿泊可能。プロジェクターやRefaのドライヤーなどを完備し、女性グループや三世代旅行での利用に人気を集めている。

▽広島県豊田郡大崎上島町沖浦1900。☎0846（62）0555。https://hotel-seifukan.co.jp/



露天風呂と本格サウナを備えた特別室「陽光」

山口県・はぎ温泉　萩城三の丸　北門屋敷

世界遺産の町中で歴史を訪ねる

「萩城三の丸　北門屋敷」（吉村龍一朗社長）は、世界遺産「萩城下町」の中に位置する唯一の旅館だ。萩城内、かつて城を守る重臣たちが居を構えた萩城三の丸の毛利一門、吉敷毛利家屋敷跡にある。藩政時代からほとんど変わらない町割りと、当時の面影を色濃く残した武家屋敷群。江戸時代の息づかいをそのまま感じられる。

宿周辺の上級武家屋敷はもとより、萩城下町や萩城跡までも徒歩圏内と散策にも最適で、それを目的とした宿泊客も多い。そのため旅館の通常の接客の他、オリジナルの手描き散策マップなど、歴史案内を含む観光案内に力を入れている。今年は毛利輝元の没後400年。近隣の「萩博物館」「毛利博物館」では、記念展示も行われている。

同館は館内散策もおすすめ。客室からは静けさに満ちた日本庭園を眺められるほか、和洋の花木が調和する英国式庭園「ホクモンガーデン」では四季の移ろいを楽しめる。館内には萩の歴史にまつわる書籍を集めた図書室もあり、落ち着いた空間で読書を楽しむことも可能だ。

▽山口県萩市堀内210。☎0838（22）7521。https://www.hokumon.co.jp/

北門屋敷表門

香川県・こんぴら温泉郷　紅梅亭別邸　とら梅

愛犬と泊まれる温泉宿

湯元こんぴら温泉　華の湯紅梅亭（近兼弘幸社長）が展開する、愛犬と泊まれる宿「紅梅亭別邸　とら梅」が愛犬家に人気だ。客室は和洋室タイプの4室。全ての客室に専用ドッグランや一緒に食事ができるインルームダイニングがある。

2024年6月に開設。金刀比羅宮に代参した犬にまつわる物語「こんぴら狗」をコンセプトに、家族、愛犬が一緒に大切な時間を過ごせる。

1室当たり最大2頭（小型犬のみ）まで宿泊可能。全ての客室に温泉露天風呂を完備。犬専用の露天風呂、テラス併設のプライベートドッグランもある。食事は部屋食で犬用メニューも提供（別途有料）している。

ゲージやトイレ、フードボウル、粘着ローラーなど、犬のためのアメニティも充実。ドッグランは共有スペースにも開設されている。

▽香川県仲多度郡琴平町556の1。☎0877（75）1111。https://www.koubaitei.jp/

愛犬と一緒に寛げる和洋室

佐賀県・唐津　唐津シーサイドホテル

海を借景にぜいたくな空間

唐津シーサイドホテル（牧昌孝社長）は、その名の通り、目の前に海（唐津湾）を望む絶好のロケーションにある。全室がオーシャンビューで、宿泊客は海からの心地良い潮風を感じながらリラックスしたひと時を過ごせる。

「くつろぎ」と「やすらぎ」をテーマとした客室は、上質なインテリアと海の借景がぜいたくな滞在を可能にする。特に東館の8階と7階は「クラブフロア」と名付けられた特別な空間。天然温泉の客室露天風呂を備えた広さ194平方㍍の「プレジデンシャルオーシャンスイート」をはじめ、全11室を備える。このフロアの宿泊客のみが利用できるラウンジ「グランブルー」で、専門スタッフが心を込めてゲストをおもてなしする。

大海原と「虹の松原」を望む天然温泉の屋上インフィニティプール「ルーフトップサーマルバス」は宿泊客にとって究極の癒やし空間である。

▽佐賀県唐津市東唐津4の182。☎0955（75）3300。https://www.seaside.karatsu.saga.jp

海が目の前の絶好のロケーション

佐賀県・嬉野温泉　嬉野八十八

茶と温泉で心と体がととのう

佐賀県嬉野温泉の嬉野八十八（うれしのやどや、角谷英彦社長）は、「茶と掛け流しの湯宿」をコンセプトに、嬉野の最大の特産品「嬉野茶」と、「日本三大美肌の湯」と呼ばれる嬉野の湯を存分に味わってもらう。「茶と温泉で心と体が調和していく（ととのう）湯宿を目指す」と同館。

地元の茶農家を同館の「専属茶師」として迎え入れた。「きたの茶園」3代目の北野秀一氏と、「田中製茶工場」3代目の田中宏氏の2人を中心とした茶師が、至宝の茶を自ら点（た）てて、ゲストに振る舞ったり、嬉野茶の文化、歴史、入れ方、味わい方、菓子とのペアリングを伝える「ティーセレモニー」を行う。

二つの源泉を持ち、36の客室（母屋24室、別邸12室）全てで源泉100%掛け流しを実現。大浴場には茶アロマのロウリュウサウナがあり、心ゆくまで体をととのえられる。

嬉野から88㌔圏内の食材を使った厳選料理の数々も味わいたい。

▽佐賀県嬉野市大字下宿丙2400の30。☎0954（20）2188。https://www.ureshino88.jp

「嬉野八十八」全景

山梨県・富士河口湖温泉郷　若草の宿　丸栄

人が人に癒やされる日本の宿

富士山の麓、河口湖の岸辺にたたずむ「若草の宿　丸栄」（渡辺洋社長）。2025年、旅館として70周年を迎えた。

節目の年に向け、段階的にリニューアルを進め、2022～23年に、最上階の見はらし露天風呂「富士の湯」「湖（うみ）の湯」と、貸し切り展望風呂「芙蓉の湯」を一新した。「富士の湯」と「芙蓉の湯」からは日本一の富士山の雄姿を、「湖の湯」からは青く輝く河口湖を望むことができる。

24年には外観をリニューアル。富士山や河口湖の大自然と調和した、やわらかで落ち着きのある装いとなった。さらに、200畳の大宴会場は日本の伝統美が彩る和ダイニングホール「富士桜」へと生まれ変わった。

木のぬくもりを生かした客室は計46室。河口湖側のスタンダード和室を中心に、露天風呂付き客室、ユニバーサル仕様を取り入れた展望風呂付き和洋室、純和風特別階「野の花亭」など、多彩な部屋タイプがそろう。

夕食は、旬の幸、里の幸を吟味した和会席を部屋食または日本情緒ゆたかな個室食事処で提供。朝食は、レストランにて、ゲストの健康面にも配慮した和食膳を係が各テーブルへ配膳する。

なかでも、丸栄が一番大切にしているのが「おもてなしの心」。

現社長の曽祖父・初代栄吉に由来する「丸栄」の屋号には、「宿の繁栄と、ご来館のお客さまの人生が、丸く栄えたものになりますように」との願いが込められている。

「私どもが目指すのは、『人（お客さま）が人（従業員）に癒やされる日本の宿』。混沌（こんとん）を極める現代社会、ひいては国際社会における日本旅館の意義・在り方を常に模索し、若草のように、いつの日も伸びゆく宿、そして、お客さまが明日への英気を養って笑顔でお帰りになれるような、富士山麓の風情と人情があふれる宿になることが私の人生のテーマです」（渡辺社長）。

▽山梨県南都留郡富士河口湖町小立498。☎0555（72）1371。https://www.marueki55.com

2024年に外観をリニューアル

日本旅館らしいたたずまいの玄関

大分県・別府鉄輪温泉　おにやまホテル

徒歩で「地獄めぐり」

別府最大級の露天風呂と温泉蒸気を活用したグルメ「地獄蒸し」に定評がある鉄輪温泉「おにやまホテル」（上月敬一郎社長）。別府の「地獄めぐり」に最適なロケーションも人気を集めている。7カ所ある「地獄」のうち、5カ所は歩いて周遊できるので同館を起点に湯めぐりを目いっぱい満喫できる。

同館は2025年2月に大改装を終え、施設を一新した。ロビーや食事会場、浴場などのパブリックスペースをはじめ、客室もリニューアル。昨年完成した「湯楽」はユニバーサルデザインを取り入れ、源泉掛け流しの温泉も完備した55平米の客室。配慮の行き届いた開放感あふれる空間は、車いす利用者や親子3世代の旅をより特別なものにしてくれる。洗練された和洋室「くつろぎ和モダン」も、全室から湯けむりを眺めることができ、温泉情緒に心も温まる滞在ができるだろう。

▽大分県別府市鉄輪335の1。☎0977（66）1121。https://www.oniyama-hotel.co.jp/

ユニバーサルデザイン客室「湯楽」

静岡県・観音温泉　飲泉、自家源泉かけ流しの秘湯　観音温泉

奥伊豆の天然の恵みのおもてなし

伊豆奥下田「飲泉・自家源泉かけ流しの宿」観音温泉（鈴木和江会長）は、伊豆奥下田の豊かな山間にたたずむ極上源泉の一軒宿。昭和38年、先代社長が温泉掘削を始め、出湯とともに「観音像」を出土、観音温泉が産声をあげた。

pH9・5の豊かなアルカリ泉、硬度1にも満たない超軟水、美容成分シリカを豊富に含む極上泉が毎分500㍑もの勢いで湧出し、浴すると肌が生まれたての赤ちゃんのようにスベスベになることから〝美肌〟を超え〝うぶ肌の湯〟と呼ばれるようになった。飲んでおいしく飲泉に最適で、酸性に偏りがちな体内バランスを整える効果も。敷地内で充填（じゅうてん）される「飲む温泉・観音温泉」は過去モンドセレクションで最高金賞と国際優秀品賞を同時受賞、都内の三つ星レストランにも認められた筋金入りの源泉水だ。食事処では、煮る、炊く、蒸す、など全ての調理に使われている。

大浴場は、「ガラティア観音乃湯」と日帰り温泉「観音プリンシプル」の二つ。敷地内の檜（ひのき）を存分に使用し豊かな香り漂う「大総檜風呂」、降りそそぐ星空を眺めながら湯浴みを堪能できる「星空の満天露天風呂」がガラティアの代表的な湯船だ。日帰り温泉は、もっと気軽に観音温泉を楽しんでもらいたいという願いから誕生した。

宿泊棟は、プライベートな露天風呂付きの奥座敷「ビグマリオン」、満天檜風呂付きの「本館」、豊かな森林ゾーンの庭園檜風が自慢の「正運館」、観音温泉発祥の館で四つのコネクティングルームが誕生した「産土（うぶすな）亭」の4館。産土亭は3世代の家族が同時滞在可能で足湯を設けた湯船も設置され、湯を囲み家族で語らうこともできる。客室まで全ての湯船が〝源泉かけ流し〟であること、多くの手すりの設置や段差の撲滅などバリアフリーに十分配慮されていることも観音温泉の特長のひとつだ。

▽静岡県下田市横川1092の1。☎0558（28）1234。https://www.kannon-onsen.com/

飲泉・自家源泉かけ流し、日帰り温泉「観音プリンシプル」。宿泊者も使用可能

「奥伊豆の天然の恵みのおもてなし」観音温泉の全景